

再評価実施事業調書

番号	3	事業名	河川事業		路線又は箇所名等		二級河川都川水系 都川		
事業所管課		河川整備課		事業主体		千葉県			
事業化 年度	昭和 39年度	用地着手 年度	昭和 39年度	工事着手年度 工事終了年度	昭和39年度 令和18年度	再評価の 理由	再々評価		
費用便益比 B/C	3.7 (1.3)	総費用 (現在価値)	2,441億円 (49億円)	総便益 (現在価値)	9,035億円 (64億円)	基準年	令和 3年	供用開始 年度	令和 18年度

※上段：全体事業費 下段（）：残事業費

【事業概要】

(目的)

都川では昭和39年度から河川改修事業に着手しているが、平成3年、平成5年、平成8年の台風により千葉市街地を中心に浸水被害を受けたことから、遊水地の建設や河道掘削、堤防整備を実施してきた。

今後も、地球温暖化に伴い増加している集中豪雨など河川への流出量の増加が見込まれることから、早急に治水安全度の向上を図る必要がある。

(主な実施内容)

都川（洪水対策）：事業延長 L=6,670m 工事内容 河道掘削、築堤、遊水地整備等

都川（高潮対策）：事業延長 約L=2,400m 工事内容 護岸等

【事業の進捗状況】(R3年度末見込み)

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全体	233.3	169.5	63.8	72.7

【社会経済情勢等】

① 流域状況

本流域は、下流に千葉市の中心部を抱え、昭和30年以降市街化が進み、流域全体の市街化率は平成28年頃には53%となっており、特に下流の葭川流域では市街化率が既に80%を超え、都市化の進んだ流域となっている。また、地球温暖化に伴い増加している集中豪雨など河川への流出量の増加が見込まれることから、治水安全度の向上が急務である。氾濫区域には、千葉市の中心市街地の他、JRや京成電鉄、国道126号、357号などの交通網を含み、水害発生時の被害、社会的影響が極めて大きい地域である。

② 主な水害状況

- 平成3年9月19日(台風18号) 浸水面積 25ha 浸水家屋数 247戸
- 平成5年8月27日(台風11号) 浸水面積 39ha 浸水家屋数 209戸
- 平成8年9月22日(台風17号) 浸水面積 65ha 浸水家屋数 43戸

③ 投資効果

- 浸水戸数 9147世帯(356世帯) ・浸水面積 251ha(25ha) [裸書：残事業、（）：全体事業]

④ その他

- 二級河川都川水系河川整備基本方針の策定 H24.11.22
- 二級河川都川水系河川整備計画の策定 H28.3.10
- 都川流域懇談会

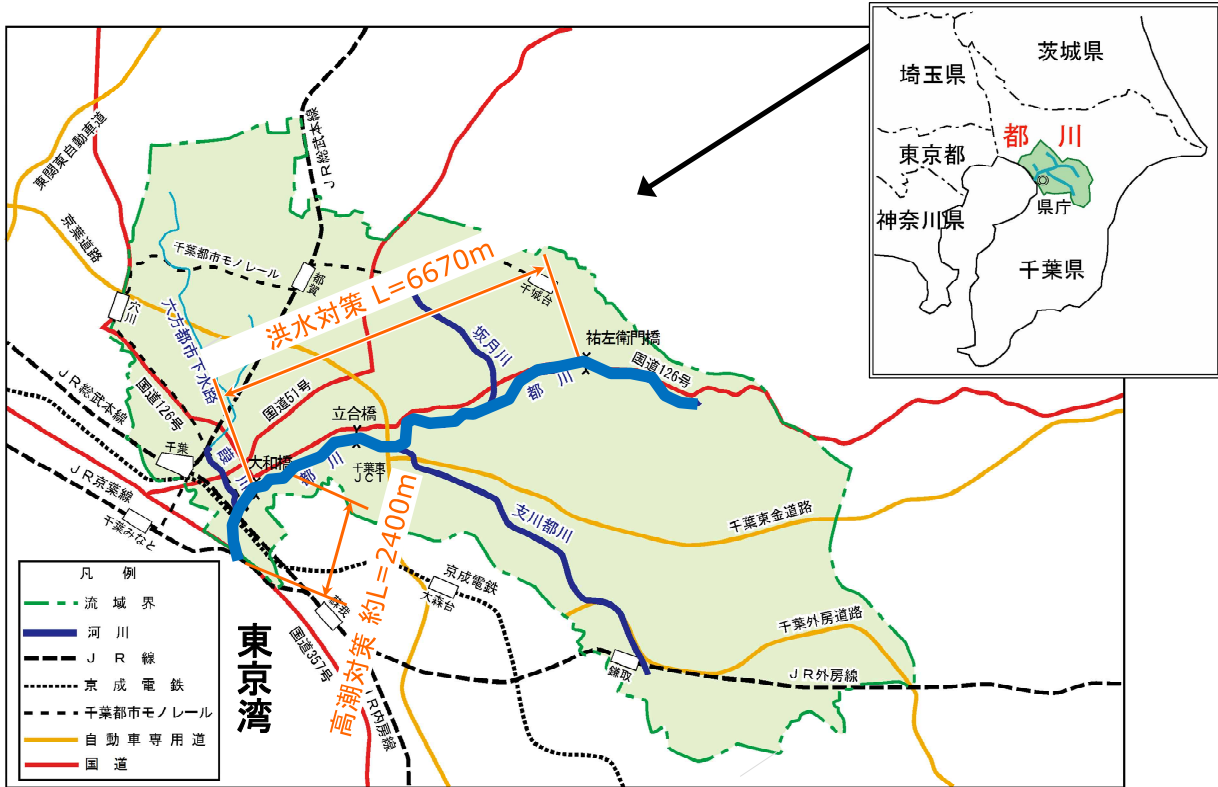
【対応方針(案)】

都川流域では、市街化の進展により流出増が見込まれ、さらに本治水事業への地元からの要望が大きく、また、全体事業の費用便益(B/C)は3.7(残事業1.3)となり、事業の投資効果も見込まれることから、事業を「継続」し、計画的な事業の推進を図る。

事業概要図

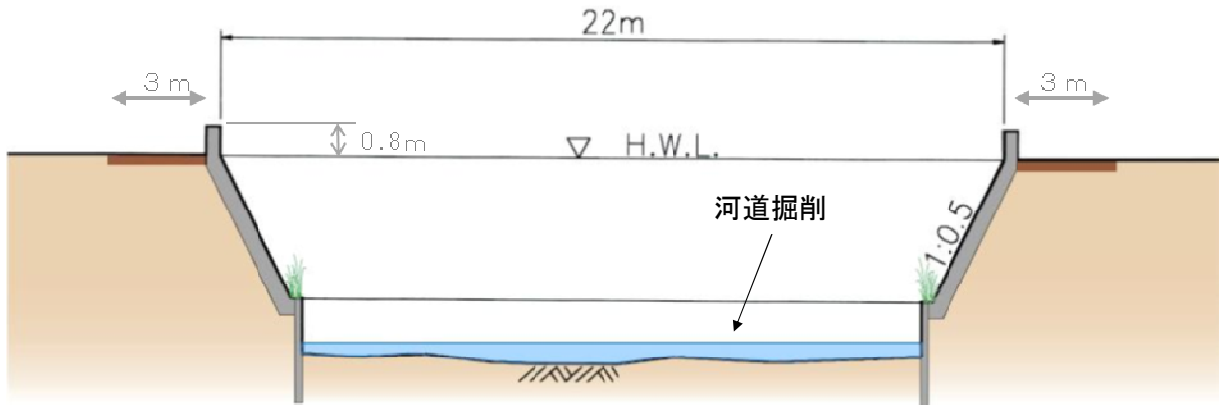
番号	3	事業名	河川事業	路線又は箇所名等	二級河川都川水系 都川
----	---	-----	------	----------	----------------

計画平面図

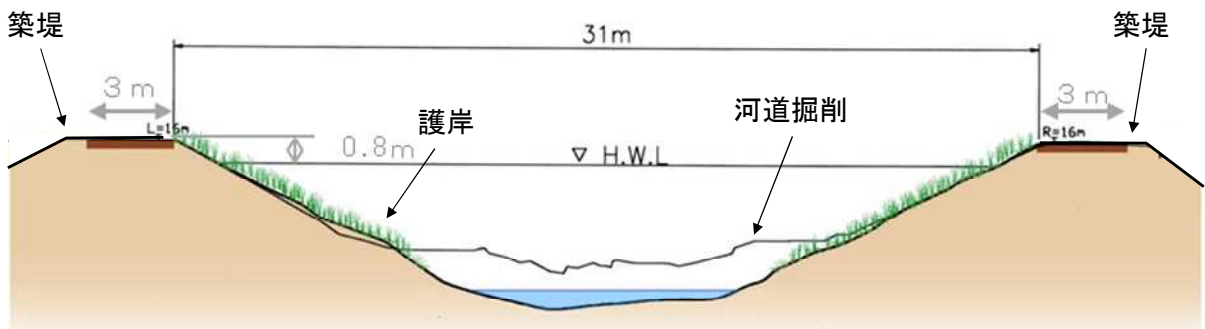


標準横断面図

●河口部～立合橋付近



●立合橋付近～祐左衛門橋付近



再々評価事業に関する調書

番号	3	事業名	社会資本整備総合交付金（河川事業）	路線又は箇所名等	二級河川都川水系 都川	
事業化年度	昭和 39 年度	用地着手年度	昭和 39 年度	工事着手年度	昭和 39 年度	
【再評価（H28 年度）の概要】						
再評価実施年度 （基準年）	平成 28 年度	供用開始年度	平成 48 年度	対応方針	継続	
B/C	2.8 [1.3]	総費用	1,809 億円 [31 億円]	総便益	5,046 億円 [41 億円]	
（ ※上段：全体事業、下段：[]：残事業 ）						
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 ○継続することが妥当である。						
再評価時の進捗状況及び再評価時想定の 5 年後の進捗状況						
	計 画	進捗状況（H28）		5 年後の推定進捗状況		
事業費	210.3 億円	166.9 億円（79.4%）		-		
うち用地・補償費	92.9 億円	91.7 億円（98.7%）		-		
うち工事費	117.4 億円	75.2 億円（64.1%）		-		
【再々評価（R3 年度）の概要】						
再評価実施年度 （基準年）	令和 3 年度	供用開始年度	令和 18 年度	対応方針	継続	
B/C	3.7 [1.3]	総費用	2,441 億円 [49 億円]	総便益	9,035 億円 [64 億円]	
（ ※上段：全体事業、下段：[]：残事業 ）						
現在の進捗状況						
	計 画	進捗状況（R3 末見込み）				
事業費	233.3 億円	169.5 億円（72.7%）				
うち用地・補償費	98.6 億円	93.6 億円（95.0%）				
うち工事費等	134.7 億円	76.0 億円（56.4%）				
再評価後の経過及び処理状況	平成 28 年 12 月 千葉県 県土整備公共事業評価審議会 再々評価 （継続が妥当である）					